

令和6年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

Ⅰ 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・発表の場を設けたことで、発表への意欲や一人一人の技能が高まった。
- ・教えたことを生かして思考できるようになった。
- ・外部人材を活用したことで、音楽や音色への興味関心が高まった。

(2) 課題

- ・知識で得たことを技能に生かすことができた。
- ・思考したことを表現したり、伝えたりする力に個人の差がある。
- ・主体的に表現できない児童が多くなってきている。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・何度も繰り返し表現する時間を設けたり、友達同士で教える場を設定することで、技能を向上させる。	・児童の思いや意図を言語化できるよう価値付けていく。 他教科の表現方法を取り入れ、音楽の学習でも活用する。	・ペアやグループなど、友達と活動することを通して、主体的に表現活動ができるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・何度も繰り返し表現したり、ポイントをしばった学習をしたりすることで、技能を向上させる。	・様々な場面で友達の考えを共有したり伝え合ったりすることで、自分の考えを広げる。 ・自分で考える時間を設定してから、協働的に解決することで、自分の考えを伝えられるようにする。	・どこでも誰とでも表現活動ができるように、様々なグループを組ませたり、教師が前向きな言葉がけをしたりして、表現しやすい雰囲気にしていく。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・視覚的に理解させたり、実感を伴わせたりして、達成感をもてる機会を増やしていく。	・自分の考えを整理できるような思考ツールを活用する。 ・音楽づくりでは、ICTを積極的に活用し、思考することに注力して学習できるようにする。	教師が認めたり、友達が認めたりして、互いに認め合える学習環境をつくっていく。